

令和3年度 栄区個性ある区づくり推進費【統合事務事業費】一覧

(単位：千円)

事業計画書番号	事業名	3年度		2年度		増△減(3-2)	
		総額	一財+市債	総額	一財+市債	総額	一財+市債
1	統合事務費	20,947	20,807	21,516	21,376	△ 569	△ 569
2	広報よこはま発行事業	6,272	5,682	6,100	5,456	172	226
3	市民相談事業	1,456	1,456	1,430	1,430	26	26
4	美化活動推進事業	1,492	1,492	1,274	1,274	218	218
5	消費生活推進員活動事業	715	715	615	615	100	100
6	スポーツ推進委員連絡協議会活動事業	1,900	1,900	1,151	1,151	749	749
7	青少年健全育成活動事業	2,335	2,335	3,085	3,085	△ 750	△ 750
8	地域と学校の協働事業	920	920	920	920	0	0
9	健康づくり月間事業	180	180	180	180	0	0
10	緊急時情報システム運用事業	325	325	325	325	0	0

(様式5-1) 令和3年度 事業計画書【統合事務事業費】

[栄 区 総務 課]

No.	1
-----	---

予算区分	区役所総務費	性質・ 課題区分	その他	事業開始年度	平成26年度
------	--------	-------------	-----	--------	--------

事業名	統合事務費
-----	-------

特記事項	中期計画-38の政策 中期計画-行政運営 中期計画-財政運営 重点事業 新規・拡充 温暖化対策関連事業
------	--

中期計画-38の政策	
政策番号	主な施策番号

事業評価 書番号	該当なし
事業評価 書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	20,947		140			20,807
前年度	21,516		140			21,376
増△減	△ 569	0	0	0	0	△ 569

歳出	平成29年度	平成30年度	令和元年度
予 算 事業費	19,467	19,513	19,776
メリット+一般財源	19,387	19,433	19,666
決 算 事業費	19,712	21,101	19,821
メリット+一般財源	19,632	21,021	19,711

歳出	令和4年度	令和5年度
予 算 事業費	23,099	23,099
一般財源	22,959	22,959
方針に関する決裁 種別()	有:件名 ()、日付 (年 月)	
	無	

事業の概要 (目的)	個性ある区づくり推進費の事業運営に要する事務を行います。区民のニーズが多様化する中、効率的・効果的な執行により、区民満足度の高いサービスの提供を目指します。
---------------	--

(説明)

運営方針等との関係	
-----------	--

【実績の推移・今後見込み】

【実施内容】

各課において事業運営に要する事務を行います。

【事業費の内訳】

(単位：千円)

細目事業	本年度	前年度	差引	説明
総務課	4,790	5,304	△ 514	所要額の精査による減
区政推進課	1,277	1,277	0	
地域振興課	1,244	1,289	△ 45	元年度実績による減
戸籍課	2,205	2,205	0	
税務課	229	229	0	
福祉保健課	1,009	1,009	0	
高齢・障害支援課	2,052	2,052	0	
こども家庭支援課	1,760	1,770	△ 10	元年度実績による減
生活支援課	5,809	5,809	0	
保険年金課	26	26	0	
土木事務所	546	546	0	
			0	
			0	
			0	
			0	
合計	20,947	21,516	△ 569	

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長 伊藤 ゆかり	係長 天住 仁	予算調整係 岩崎 太
--------------------	--------------	------------	---------------

(栄 区 一 事)

[栄 区 区政推進 課]

予算区分	広聴広報相談費 地域福祉保健推進費 地域福祉保健推進費	性質・ 課題区 分	広報・広聴 健康づくり その他福祉・保健・衛生	事業開始年度	平成6年度
------	-----------------------------------	-----------------	-------------------------------	--------	-------

事業名	広報よこはま発行事業
-----	------------

特記事項	中期計画-38の政策 中期計画-行政運営 中期計画-財政運営 重点事業 新規・拡充 温暖化対策関連事業
------	--

中期計画-38の政策	政策番号	主な施策番号

事業評価 書番号	該当なし
事業評価 書番号	

(単位:千円)

区分	金額	財 源 内 訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	6,272		590			5,682
前年度	6,100		644			5,456
増△減	172	0	△54	0	0	226

歳出			平成29年度	平成30年度	令和元年度	歳出			令和4年度	令和5年度
予	事業費	6,250	6,035	6,122	6,122	予	事業費	7,000	6,272	
算	メリット+一般財源	5,630	5,415	5,492	5,492	算	一般財源	6,410	5,682	
決	事業費	5,659	5,517	5,934	5,934	方針に関する決裁 種別()				
算	メリット+一般財源	5,029	4,879	5,295	5,295	有:件名()、日付(年月日)				
(無)										

事業の概要 (目的)	・区政に関わる情報を広く発信するために、「広報よこはま栄区版」を発行します。 ・福祉保健センターが実施する事業の年間日程や相談窓口を掲載した「栄福祉保健センターからのお知らせ」を発行し、区民に配布します。
---------------	---

(説 明)						
1 地域の課題等	<p>＜広報さかえ発行事業＞ 区政・市政を円滑に推進していくためには対象のエリアにお住いの人の理解や協力を得ることが不可欠です。そのためには、区の方針や施策、その効果などを的確に広報していくことが求められます。「広報よこはま栄区版」は、区民にお伝えしたい事案について、興味を惹くデザイン、表現方法等を追及しながら作成します。</p> <p>＜福祉保健センターからのお知らせ発行事業＞ 栄区民が地域の中で安心して暮らしていくために、検診や相談等の年間日程を事前にお知らせし、福祉保健センターが実施するサービスを、計画的にかつ十分に利用できるようにすることが重要です。より分かりやすく、明確に伝わるように工夫された紙面作りが必要です。</p>					
地域の課題等の収集手段						
2 運営方針等との関係	令和2年度栄区運営方針 目標達成に向けた施策2「栄の魅力 向上と発信」 目標達成に向けた施策3「福祉保健・セーフコミュニティの推進」					
3 根拠法令・要綱等	横浜市広報よこはま発行要領					
【実績の推移・今後見込み】						
	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度見込み	3年度見込み	4年度見込み
広報さかえの発行数	603,600部	603,600部	601,300部	606,600部	620,000部	620,000部
福祉保健センターからのお知らせの発行数	57,000部	57,000部	55,000部	55,000部	55,000部	55,000部
【実施内容】						
<p>＜広報さかえ発行事業＞(5,443千円) 「広報よこはま栄区版」を作成し、紙媒体での配布及びホームページ上で公開します。</p> <p>＜福祉保健センターからのお知らせ発行事業＞(829千円) 「栄区福祉保健センターからのお知らせ」(タブロイド判4ページ)を発行し、広報よこはま4月号とともに栄区全戸へ配布します。また転入者の届出等の際に配布する等、区民へもれなく周知します。</p>						
【事業費の内訳】						
細目事業名	本年度	前年度	差引	説明		
広報さかえ発行事業	5,443	5,356	87	マンション増設等による印刷部数の増		
福祉保健センターからのお知らせ発行事業	829	744	85	紙代高騰による増		
事業費合計	6,272	6,100	172			
【根拠とするデータ等】						

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長 区政推進課長 永松 弘至 福祉保健課長 角田 恭子	係長 広報相談係長 鈴木 恵美 子 運営企画係長 野本 智英	係 広報相談係 石田 梓 運営企画係 青木 ゆき子
--------------------	------------------------------------	---	---------------------------------

予算区分	広聴広報相談費	性質・課題区分	広報・広聴	事業開始年度	平成6年度
------	---------	---------	-------	--------	-------

事業名 市民相談事業	特記事項	中期計画-38の政策 政策番号 主な施策番号	事業評価 書番号	該当なし
	中期計画-行政運営 中期計画-財政運営 重点事業 新規・拡充 温暖化対策関連事業		事業評価 書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	1,456					1,456
前年度	1,430					1,430
増△減	26	0	0	0	0	26

歳出		平成29年度	平成30年度	令和元年度	歳出		令和4年度	令和5年度
予	事業費	1,293	1,325	1,377	予	事業費	1,456	1,456
算	メリット+一般財源	1,293	1,325	1,377	算	一般財源	1,456	1,456
決	事業費	1,397	1,322	1,360	方針に関する決裁 種別()			
算	メリット+一般財源	1,397	1,322	1,360	有:件名(), 日付(年月)			
				無				

事業の概要 (目的)	区民の意見や提案を区政運営や施策に反映させるために広聴事業を実施します。行政での解決が難しい問題について、専門家による特別相談を開催します。
---------------	--

(説明)

1 地域の課題等	<p>《市民の声・特別相談事業》 区民からの要望について、関係部署・関係機関と連携して対応する必要があります。また、行政での解決が難しい問題について、専門家による無料相談を実施し、解決への道筋を提供する必要があります。</p>
地域の課題等の収集手段	1 日常の窓口対応等
2 運営方針等との関係	
3 根拠法令・要綱等	「市民の声」事業の実施に関する取扱要綱

【実績の推移・今後見込み】

	H29年度実績	H30年度実績	R1年度実績	R2年度見込み	R3年度見込み
市民の声 (DB)	198件	178件	229件	229件	229件
法律相談	260件	268件	266件	266件	266件
交通事故相談	8件	5件	9件	7件	9件
公証相談	12件	22件	33件	25件	33件
行政書士相談	29件	29件	27件	20件	27件
行政相談	7件	6件	6件	3件	6件
司法書士相談	45件	55件	48件	36件	48件

令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、法律相談以外の特別相談は4月から相談を休止していましたが、電話相談により順次相談を再開しました。令和3年度は令和元年度と同程度の実績が見込まれます。

【実施内容】
《市民の声・特別相談事業》(1,456千円)
区民からの要望について、広聴情報データベースで管理し、関係部署・関係機関と連携して対応します。専門家(弁護士、交通事故相談員、公証人、行政書士、行政相談委員、司法書士)による無料相談を実施します。

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
市民の声・特別相談事業	1,456	1,430	26	曜日による相談日予定の増
事業費合計	1,456	1,430	26	

【根拠とするデータ等】

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	広報相談係
	永松 弘至	鈴木 恵美子	石上 敦也

[栄 区 地域振興 課]

予算区分	地域コミュニティ費	性質・課題区分	環境美化	事業開始年度	平成17年度
------	-----------	---------	------	--------	--------

事業名	美化活動推進事業
-----	----------

特記事項	○
中期計画-38の政策	
中期計画-行政運営	
中期計画-財政運営	
重点事業	
新規・拡充	
温暖化対策関連事業	

中期計画-38の政策	
政策番号	主な施策番号
11	6

事業評価書番号	該当なし
事業評価書番号	

(単位:千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	1,492					1,492
前年度	1,274					1,274
増△減	218	0	0	0	0	218

歳出		平成29年度	平成30年度	令和元年度	歳出		令和4年度	令和5年度
予	事業費	1,077	854	854	予	事業費	1,492	1,492
算	メリット+一般財源	1,077	854	854	算	一般財源	1,492	1,492
決	事業費	640	616	720	方針に関する決裁 種別()			
算	メリット+一般財源	640	616	720	右:件名()、日付(年月)			
(無)								

事業の概要(目的)	地域美化活動推進のため、本郷台駅前及び大船駅前での清掃、不法投棄・ポイ捨て防止の広報啓発活動を実施します。
-----------	---

(説明)

1 地域の課題等

栄区の玄関口であるJR本郷台駅前及び大船駅前では、たばこの吸い殻や空き缶等のポイ捨てが課題となっています。美化推進重点地区であるJR本郷台駅及び大船駅北口周辺はもとより、区全域で美しいまちを推進・維持していくために、関係機関・団体と連携を取り、環境美化活動を一層推進する必要があります。

地域の課題等の収集手段	1 日常の窓口対応等	5 区民アンケート	6 区民要望	7 関係団体からの要望
-------------	------------	-----------	--------	-------------

2 運営方針等との関係

3 根拠法令・要綱等 横浜市空き缶等及び吸い殻等の散乱の防止等に関する条例

【実績の推移・今後見込み】						
	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度見込み	3年度見込み	
本郷台駅前「ごみのポイ捨て禁止」啓発活動実施回数	-	6	6	4	6	(単位:回)

【実施内容】

- 清掃業務受託者による美化推進重点地区の清掃
内容:清掃業務受託者がJR本郷台駅及び大船駅北口周辺等の清掃を実施
回数:受託者 本郷台・大船:各90日(年間)
※令和2年度末での美化推進員制度廃止に伴い、年間通じて委託による清掃で実施
- 環境事業推進員等と連携した「ごみのポイ捨て禁止」・「歩きタバコ防止」啓発活動
内容:JR本郷台駅前及び大船駅笠間口周辺で啓発ティッシュの配布及び清掃を実施
回数:年6回(偶数月)

【事業費の内訳】				
細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
美化活動の推進	1,492	1,274	218	
事業費合計	1,492	1,274	218	

【根拠とするデータ等】

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	地域活動係
	池田 文博	小松 徹	小西 亮希

(様式6-1) 令和3年度 事業計画書【統合事務事業費】

[栄 区 地域振興 課]

No.	5
-----	---

予算区分	地域コミュニティ費	性質・課題区分	地域コミュニティ	事業開始年度	平成6年度
------	-----------	---------	----------	--------	-------

事業名	消費生活推進員活動事業
-----	-------------

特記事項	
中期計画-38の政策	
中期計画-行政運営	
中期計画-財政運営	
重点事業	
新規・拡充	
温暖化対策関連事業	

中期計画-38の政策	
政策番号	主な施策番号
14	6

事業評価書番号	該当なし
事業評価書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	715					715
前年度	615					615
増△減	100	0	0	0	0	100

歳出		平成29年度	平成30年度	令和元年度	歳出		令和4年度	令和5年度
予	事業費	498	498	615	予	事業費	715	715
算	メリット+一般財源	498	498	615	算	一般財源	715	715
決	事業費	577	595	507	方針に関する決裁 種別() 右:件名()、日付(年月)			
算	メリット+一般財源	577	595	507				

事業の概要 (目的)	区民総ぐるみで、悪質商法被害未然防止活動や振り込み詐欺被害防止活動等を区役所、警察などの関連行政機関、地域と協力して実施します。
------------	--

(説明)

1 地域の課題等

全国的に、高齢者の消費者被害が、高齢者人口の増加率を大きく超えるスピードで増えている状況において、高齢者の消費者被害防止のために、「既にある見守りの仕組みに消費者被害防止の視点を加えていく」という考えのもと、現在も積極的、活発に行われている啓発活動を継続して実施する必要があります。

地域の課題等の収集手段 1 日常の窓口対応等 5 区民アンケート 6 区民要望 7 関係団体からの要望

2 運営方針等との関係 令和2年度区政運営方針 3 福祉保健・セーフコミュニティの推進

3 根拠法令・要綱等 消費者基本法、横浜市消費生活条例、消費者教育の推進に関する法律、横浜市消費生活条例施行規則、横浜市消費生活推進員要綱、栄区消費生活推進員地区活動助成金交付要綱

【実績の推移・今後見込み】	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度見込み	3年度見込み
消費者被害未然防止啓発講座等の受講者数	3,500	3,500	3,500	1,750	3,500

(単位：人)

- 【実施内容】
- 消費生活推進員活動費補助
内容：地域の消費生活推進員の活動を支援するため、活動費の助成を実施します。
対象：各地区消費生活推進員の会
 - 広報紙の作成
内容：悪質商法被害未然防止に関する情報を提供するため、広報紙を作成し啓発を行います。
発行回数：年2回
対象：区民
- 【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
消費生活推進員活動事業	715	615	100	
事業費合計	715	615	100	

【根拠とするデータ等】

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	地域活動係
	根本 道夫	石塚 学	鶴池 健太郎

[栄 区 地域振興 課]

予算区分	文化・スポーツ・学習振興費	性質・課題区分	文化・スポーツ	事業開始年度	平成6年度
------	---------------	---------	---------	--------	-------

事業名	スポーツ推進委員連絡協議会活動事業
-----	-------------------

特記事項	○
中期計画-38の政策	
中期計画-行政運営	
中期計画-財政運営	
重点事業	
新規・拡充	
温暖化対策関連事業	

中期計画-38の政策	政策番号	主な施策番号
	7	1, 2

事業評価書番号	該当なし
事業評価書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財 源 内 訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	1,900					1,900
前年度	1,151					1,151
増△減	749	0	0	0	0	749

歳出	平成29年度	平成30年度	令和元年度	歳出	令和4年度	令和5年度		
							予 算	事業費
	メリット+一般財源	1,503	1,143	2,990		一般財源	1,203	1,900
決 算	事業費	1,494	1,143	2,963	方針に関する決裁 種別()			
	メリット+一般財源	1,494	1,143	2,963	有:件名()、日付(年/月)			
					無			

事業の概要(目的)	区民の健康増進や体力向上等、地域のスポーツ振興のために活躍しているスポーツ推進委員を支援し、生涯スポーツの普及・振興を図ります。
-----------	--

(説明)

1 地域の課題等	<ul style="list-style-type: none"> 幅広い年齢層の区民が、それぞれの体力や興味に応じてスポーツに取り組み、健康の保持増進や交流を図る生涯スポーツの推進が求められています。 生涯スポーツの推進を図るためには、地域におけるスポーツ振興の中心的な担い手であるスポーツ推進委員の日常的な活動を支援することが必要です。
地域の課題等の収集手段	1 日常の窓口対応等 5 区民アンケート 7 関係団体からの要望
2 運営方針等との関係	<ul style="list-style-type: none"> 令和2年度栄区運営方針 栄の魅力 向上と発信 横浜市スポーツ推進計画 15 スポーツ推進委員の育成・活用
3 根拠法令・要綱等	スポーツ基本法、スポーツ基本計画、横浜市スポーツ推進委員規則、栄区スポーツ推進委員連絡協議会活動補助金交付要綱

【実績の推移・今後見込み】

	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度見込み	3年度見込み
栄区スポーツ推進委員連絡協議会 (委嘱人数：人)	93	93	88	89	93

【実施内容】

- ・スポーツ推進委員による各地区の運動会、地域に密着した生涯スポーツの普及や、地域におけるレクリエーションイベントの開催や運営協力を支援します。
- ・スポーツ推進委員の資質向上のため、研修会を実施します。
- ・スポーツ推進委員の活動を広く周知するため、広報誌を発行します。
- ・県・市レベルのスポーツ大会(横浜マラソン等)等へスポーツ推進委員を派遣します。

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
スポーツ推進委員連絡協議会活動事業	1,900	1,151	749	改選に伴うユニフォーム購入費に係る補助金の増
事業費合計	1,900	1,151	749	

【根拠とするデータ等】

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	生涯学習支援 係
	根本 道夫	細井 沙友里	小方 優作

[栄 区 地域振興 課]

予算区分	子育て・子ども・青少年育成費	性質・課題区分	青少年健全育成	事業開始年度	平成6年度
------	----------------	---------	---------	--------	-------

事業名 青少年健全育成活動事業	特記事項	中期計画-38の政策	○	中期計画-38の政策	政策番号	主な施策番号	33	1	事業評価書番号	該当なし
	重点事業	新規・拡充							事業評価書番号	

(単位:千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	2,335					2,335
前年度	3,085					3,085
増△減	△750	0	0	0	0	△750

歳出		平成29年度	平成30年度	令和元年度	歳出		令和4年度	令和5年度
予算	事業費	2,239	3,100	2,335	予算	事業費	3,085	2,335
決算	メリット+一般財源	2,239	3,100	2,335	決算	一般財源	3,085	2,335
決算	事業費	2,239	3,100	2,305	方針に関する決裁 種別()			
決算	メリット+一般財源	2,239	3,100	2,305	有:件名()、日付(年月)			
(無)								

事業の概要(目的) 地域、団体、企業等と連携・協働しながら、青少年の健全育成を目的に、各種事業を実施します。

(説明)

1 地域の課題等
《青少年指導員協議会活動事業・社会環境健全化補助事業》
近年、共働き世帯の増加による親子が触れ合う時間の減少、世帯あたりの子どもの数の減少、地域のつながりの希薄化など、青少年を取り巻く社会環境が変化中、青少年の自己肯定感が低くなっています。子どもや青少年が社会の一員であることを自覚し、共に社会で生きていくことができるよう、子ども同士の共同作業を通じての社会参加、地域住民との交流、自然とのふれあい体験等の機会をつくり、成長過程を支援していく必要があります。青少年の健全育成を効果的に進めていくためには、青少年指導員等の地域団体をはじめ、家庭、学校、地域、民間団体、企業や行政が一体となった協働・連携が求められています。

地域の課題等の収集手段	1 日常の窓口対応等	5 区民アンケート	7 関係団体からの要望
2 運営方針等との関係	令和2年度区政運営方針 2 栄の魅力 向上と発信		
3 根拠法令・要綱等	かながわ青少年育成支援指針、神奈川県青少年保護育成条例、神奈川県青少年指導員要綱、横浜市青少年指導員要綱、栄区青少年指導員協議会会則、栄区青少年指導員協議会補助金交付要綱、栄区社会環境健全化活動事業補助金交付要綱		

【実績の推移・今後見込み】

	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度見込み	3年度見込み
栄区青少年指導員協議会 (委嘱人数:人)	104	101	103	100	100

【実施内容】

《青少年指導員協議会活動事業》(2,200千円)
青少年の健全育成のため、キャンプ等の地区活動、区協議会活動、資質向上のための研修等を実施します。
(1) 地区単位で行う、地域に密着した青少年育成活動(キャンプ等)を実施(対象者:区内青少年)
(2) 栄区青少年指導員の資質向上のための研修会、講習会を実施(年2回)(対象者:青少年指導員)
(3) 県、市レベルの研修会、区内大会等への派遣(年5回程度)(対象者:青少年指導員)
(4) 区協議会(定例会:11回 研修部会:4回 事業部会:4回 広報部会:4回)、地区会議

《社会環境健全化補助事業》(135千円)
青少年指導員が、社会環境健全化を図るため、各種調査等を実施します。
(1) 社会環境実態調査(年1回:県青少年保護育成条例に基づき、区内古書店等を調査)
(2) 全市一斉統一行動パトロール活動(年1回:市で指定された日時での一斉夜間パトロールを実施)
(3) 全市統一行動キャンペーン活動(年1回:区民まつり時に啓発物品とチラシを配付)

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
青少年指導員協議会活動事業	2,200	2,950	△750	委嘱年度でないことによるユニフォーム代の減
青少年指導員協議会活動事業	135	135	0	
事業費合計	2,335	3,085	△750	

【根拠とするデータ等】

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	生涯学習支援 係
	根本 道夫	細井 沙友里	三友 恭太

[栄 区 こども家庭支援 課]

予算区分	子育て・子ども・青少年育成費	性質・課題区分	青少年健全育成	事業開始年度	平成17年度
------	----------------	---------	---------	--------	--------

事業名	地域と学校の協働事業
-----	------------

特記事項	
中期計画-38の政策	○
中期計画-行政運営	
中期計画-財政運営	
重点事業	
新規・拡充	
温暖化対策関連事業	

中期計画-38の政策	
政策番号	主な施策番号
25	8

事業評価書番号	該当なし
事業評価書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財 源 内 訳				一 般 財 源
		国・県	諸収入			
本 年 度	920					920
前 年 度	920					920
増△減	0	0	0	0	0	0

歳出	平成29年度	平成30年度	令和元年度	歳出	令和4年度	令和5年度
予 算	320	720	920	予 算	920	920
メリット+一般財源	320	720	920	一般財源	920	920
決 算	294	687	850			
メリット+一般財源	294	687	850			

方針に関する決裁 種別()
有:件名()、日付(年月)
細

事業の概要 (目的)	学齢期の子どもについて、周囲の大人たちに見守られているという安心感のもと、健全に成長していくことができるよう、地域と学校、区役所等が連携して、地域と子どもたちとの顔の見える関係づくりを推進します。
------------	--

(説 明)

1 地域の課題等	共働き家庭の増加や家族規模の減少など、子どもたちを取り巻く環境は変化し、地域での見守りや関わりの重要性が高まっていることから、地域と学校、区役所等が連携を強化し、きめ細かな支援を継続的に行っていく必要があります。
----------	--

地域の課題等の収集手段	1 日常の窓口対応等	3 地区担当制度		
-------------	------------	----------	--	--

2 運営方針等との関係	・令和2年度栄区運営方針 1 未来へ向けたまちづくり
-------------	-------------------------------

3 根拠法令・要綱等	栄区地域と学校の協働事業交付金交付要綱
------------	---------------------

【実績の推移・今後見込み】

上段：予算額(単位：千円)、下段：中学校区数

事業名	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度見込み	3年度見込み
地域と学校の協働事業	320 (3)	720 (5)	920 (6)	920 (6)	920 (6)

【実施内容】

青少年の健全育成を図るため、地域と学校が協働して行う事業に対し、栄区地域と学校の協働事業推進協議会を通じて、中学校区ごとに交付金を交付します。

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
地域と学校の協働事業	920	920	0	
事業費合計	920	920	0	

【根拠とするデータ等】

栄区内の小・中学校数(令和2年度時点)

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長 大谷地 久美子	係長 山崎 由佳	こども家庭係 佐藤 明子
--------------------	---------------	-------------	-----------------

予算区分	地域福祉保健推進費	性質・課題区分	健康づくり	事業開始年度	平成8年度
------	-----------	---------	-------	--------	-------

※令和2年度から統合事業費

事業名 健康づくり月間事業	特記事項	中期計画-38の政策	○	中期計画-38の政策	政策番号	主な施策番号	事業評価書番号	該当なし
	中期計画-行政運営			15	1		事業評価書番号	
	重点事業							
	新規・拡充							
	温暖化対策関連事業							

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	180					180
前年度	180					180
増△減	0	0	0	0	0	0

歳出		平成29年度	平成30年度	令和元年度	歳出		令和4年度	令和5年度
予算	事業費	180	180	180	予算	事業費	180	180
	メリット+一般財源	180	180	180		一般財源	180	180
決算	事業費	180	180	180	方針に関する決裁 種別()			
	メリット+一般財源	180	180	180	有:件名()、日付(年月)			
無								

事業の概要(目的)	区民への健康づくりの普及活動を進めるため、健康づくり月間行事の企画・実施を行う。
-----------	--

(説明)							
1 地域の課題等							
<p>・若い世代から高齢者まで、すべての世代において運動や食生活、口腔の健康は、生活習慣改善や予防が健康寿命の延伸のために重要となっています。一方で、がん検診の受診率は低く、特に乳がん検診は17.5%(平成30年度)、子宮がん検診は18.9%(平成30年度)、特定健診も受診率は24.9%(平成30年度)と健康増進の基本となる検診・健診受診率は高いとはいえない状況にあります。また食生活についても、若い世代では野菜摂取量や食事バランス、高齢者では低栄養の傾向がみられるなど課題が散見しています。このような状況の中で、健康に興味を持つものの取組までに至らないことや、多くの情報から正しい知識に触れる機会が少ないことから、広く地域住民と関わり、健康増進のために働きかけ、情報発信もあわせて行う機会が重要となります。</p> <p>・地域で健康増進のための活動を推進するためには関係機関との協働が不可欠ですが、各事業を超え連携を取る場面は限られています。</p>							
地域の課題等の収集手段		1 日常の窓口対応等	5 区民アンケート	8 その他			
2 運営方針等との関係			令和2年度栄区運営方針 II 目標達成に向けた主な施策 施策3 福祉保健・セーフコミュニティの推進				
3 根拠法令・要綱等			健康増進普及月間実施要項(厚労省)、横浜市健康づくり月間事業実施要綱				
【実績の推移・今後見込み】							
	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	令和1年度	令和2年度
健康づくり月間参加人数	4,115	6,630	8,152	7,215	9,451	9,151	0(*)
(*)令和2年度は「栄区民まつり」中止のため0人							
【実施内容】							
地域で健康づくり活動を進めるため、関係団体等と連携し、健康づくり月間行事等で健康づくり月間実行委員会の各団体から、区民に健康づくりに関する情報の発信など啓発を行う。							
【事業費の内訳】							
細目事業名	本年度	前年度	差引	説明			
健康づくり月間事業	180	180	0				
事業費合計	180	180	0				
【根拠とするデータ等】							

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	健康づくり係
	角田 恭子	窪田 陽子	長谷川 麻里子

予算区分	防犯・防災・安全対策費	性質・課題区分	防災	事業開始年度	令和2年度
------	-------------	---------	----	--------	-------

事業名	緊急時情報システム運用事業
-----	---------------

特記事項	中期計画-38の政策 中期計画-行政運営 中期計画-財政運営 重点事業 新規・拡充 温暖化対策関連事業
------	--

中期計画-38の政策	政策番号	主な施策番号

事業評価書番号	該当なし
事業評価書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	325					325
前年度	325					325
増△減	0	0	0	0	0	0

歳出	平成29年度	平成30年度	令和元年度	歳出	令和4年度	令和5年度
予 算	事業費 1,110	899	240	予 算	事業費 350	350
	メリット+一般財源 1,110	899	240		一般財源 350	350
決 算	事業費 35	130	130			
	メリット+一般財源 35	130	130			

方針に関する決裁 種別()
 有:件名()、日付(年月)
 無

事業の概要(目的)	電話を利用した、双方向機能を有する緊急時情報システムの運用を行います。
-----------	-------------------------------------

(説明)

1 地域の課題等

近年の豪雨による被害により区民の防災意識は高まっており、災害時の広報の在り方にも関心が寄せられています。より一層の広報の強化を図るため、従来の広報車や区ウェブサイト等の活用に加え、緊急情報を一斉に電話でお知らせできる当該システムの活用も進めていく必要があります。

地域の課題等の収集手段	1 日常の窓口対応等	3 地区担当制度	6 区民要望	7 関係団体からの要望
-------------	------------	----------	--------	-------------

2 運営方針等との関係 令和2年度栄区運営方針 防災力・減災力の強化

3 根拠法令・要綱等 災害対策基本法、横浜市危機管理指針

【実績の推移・今後見込み】

当該システムを使用することにより、緊急時に少人数で、地域(自治会・町内会)等に対し迅速に情報の受伝達を実施することが可能になります。

【実施内容】

災害等に関する緊急情報を電話を利用して区から直接、防災・減災活動の核である地域防災組織の長(自治会町内会長)等に対して発信し、あわせて双方向機能を有するシステムを活用することで情報受伝達の向上を図ります。

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
緊急時情報システム運用事業	325	325	0	
事業費合計	325	325	0	

【根拠とするデータ等】

過年度の使用料の実績や、想定利用人数に基づき積算

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長 伊藤 ゆかり	係長 御所脇 佑介 山口 裕司	庶務係 中山 智貴
--------------------	-----------	--------------------	-----------